

第 33 回 100 年史誌部会議事録

日時： 2008 年 12 月 24 日（水）16 時 10 分～17 時 10 分

場所： 管理棟 2 階第一応接室

出席者： 横山部会長、松田、大町、奥山、神戸、小池、山崎、鈴木、片山各委員、小室編集局員、斎藤編集補助員、細谷氏（ぎょうせい）、栗野（記）

欠席者： 小山、高畑、金子各委員

【配付資料】

【資料 33-1】 今月の話題「なでら荘の思ひ出」（会田浩昭氏） （2 頁）

【資料 33-2】 工学部通史執筆候補・担当割当案 / ページ割り付けガイドライン（編纂室） （2 頁）

【資料 33-3】 100 周年記念誌（Journal）第 33 回部会議題（松田委員） （4 頁）

I) 報告および連絡事項

1. 山崎委員が、同日開催された創立 100 周年記念事業実行委員会について、次のように報告した。
 - ・募金部会は 5 億円の目標額に対して約 31%の到達点にある。環境はきびしいが積極的にアプローチして募っていききたい。
 - ・記念会館の建設推進委員会では、12 月 25 日に実施設計の打ち合わせを行う予定で、今後募金の進捗状況を見ながら発注方法や建設時期について検討していききたい。
 - ・記念式典は 2010 年 5 月 4 日に開催の予定で、担当は石川教授から高橋辰宏教授にバトンタッチされた。
 - ・100 年史誌部会は最も進捗しているといえるのではないか。ついで横山部会長が、実行委員会でもヒストリーの原稿依頼がオーソライズされた、との補足発言を行った。
2. 「今月の話題」の 1 月担当について、鈴木委員に対し小室編集局員から依頼があり、了承された。

II) 協議事項

1. 百年史

①「今月の話題」（12 月度）

会田浩昭氏（T_{平2}）に寄稿してもらった（資料 33-1）。

②部局史の進捗状況について

高分子系（栗野委員） 進んでいないので挽回をはかりたい。

機械系（大町委員） 植松先生に執筆していただくことになった。近ぢか打ち合わせをもつ。

電子情報系（奥山委員） 実行委員会で執筆協力を依頼した。

共通講座（小池委員） 最近 20 年間については高橋眞英先生が引き受けてくださった。昭和 42 年以降の初期の部分については、菅野先生に相談したところ、「中村先生が適任」との意見だったので、これから電話で依頼するところである。

生体センシング（神戸委員） これまでデッドラインを書いてこなかったもので、口頭で報告したい。夏休み前 6 人に 2 年分ぐらいずつ分担してもらったところ、5 人の方からは原稿

をいただいている。写真が必要かどうか熟慮中。

米沢工業会（山崎委員） 会誌に連載してきた「あゆみ」をまとめたい。

事務局（片山委員） 委員を交代してから引き継ぎをしていないが、間に合わせるようにしたい。

部局史の分量について質問が出され、小室編集局員が「全体で約 300 ページ、通史のほうには目安があるが、部局史にははじめから枠をはめないことにしたい」と答えた。

③「百年史」の今後の進め方について

小室編集局員が【資料 33-2】をベースに進めたい旨説明した。

横山部会長が補足発言を行い、『百年史』については実行委員会でも確認済みのことであり、委員各位にも、史料の掘り起こしと合わせて、原稿依頼をお願いしたい。期日が迫ってきたので、みんなで力を合わせて進めていきたい」と述べた。

2. 100 周年記念誌

松田委員が【資料 33-3】に沿って次の項目ごとに現況を説明し、ほかの委員からも若干の報告を出しあった。

①「百人の声」先行執筆について

「7 名から原稿をいただいている」（松田委員）

「赤塚先生から、年内は無理なので代わりの方を推薦したい、と申し出があった。本番には間に合うようにしたい」（神戸委員）

などの発言が出された。

②「キーワード」用写真について

③四つの象限についての経過報告

「米織の象限にかかわって、12 月 12 日に新田(株)へ取材に行ってきた。山崎委員から声をかけてもらっていたので、2 時間近くスムーズに取材ができた。紅花染めも昭和 30 年ごろまでは京都で染めてもらっていた、ほかの地方の織物もかつては米沢で織っていた、など興味深い話が聞けた。寒さのために発色がよくなる 2 月ごろ、再度撮影に出かけたい」（細谷氏）

また、小野榮、松野良寅両先生には執筆依頼は考えないが、監修・チェックをお願いできると心強いことを確認した。

III) 次回部会について

次回は、2 月 24 日（水）11 時から 12 時まで第二応接室で開催する。

以上

(2009 年 1 月 19 日)